

* * *

お 知 ら せ

* * *

§ 分子イメージング研究シンポジウム 2006 「創薬・疾患診断の革新を目指して」

最新情報は、

<http://www.nirs.go.jp/news/event/2006/mic/program.html>

をご覧ください。

主 催：独立行政法人放射線医学総合研究所
独立行政法人理化学研究所

後 援：文部科学省

開催日時：平成 18 年 3 月 13 日 (月)
13 時～17 時

会 場：経団連会館・経団連ホール
東京都千代田区大手町 1-9-4
TEL: 03-5204-1500

プログラム (予定)

開会の言葉 野依良治 (理化学研究所理事長)

ご 挨 拶 藤田明博
(文部科学省研究振興局担当審議官)

1. 講演

特別講演

「分子イメージングへの期待
知財獲得，人材育成の面から」
黒川 清 (学会会議会長)

招聘講演

「Innovative Molecular Imaging」
Prof. Robert Innis
米国 NIH (Molecular Imaging Branch, NIMH)
教授

2. 分子イメージングプログラムの概要について
「創薬候補物質探索拠点について」

渡辺恭良 (理化学研究所
フロンティア研究システムチームリーダー)

「PET 疾患診断研究拠点について」

米倉義晴 (放射線医学総合研究所
分子イメージング研究センター長)

3. パネルディスカッション

「分子イメージング研究の将来展望
創薬・疾患診断の革新を目指して」

座長：杉山雄一
(東京大学大学院薬学系研究科教授)

パネリスト：

井戸達雄 (福井大学医学部)
鈴木正昭 (理化学研究所フロンティア研究
システム)

藤林康久 (福井大学高エネルギー医学研究
センター)

須原哲也 (放射線医学総合研究所
分子イメージング研究センター)

塚田秀夫 (浜松ホトニクス株)
西村伸太郎 (アステラス製薬株)

閉会の挨拶 佐々木康人
(放射線医学総合研究所理事長)

§ 特別研究員 RPD

出産・育児による研究中断者への復帰支援 フェローシップ

平成 18・19 年度採用分募集について

独立行政法人 日本学術振興会

申請受付期間

平成 18 年 6 月 5 日 (月)～9 日 (金) 必着

申請資格

大学院博士課程修了者等で平成 18 年 4 月 1 日から遡って過去 5 年以内に、出産または子の養育のため、概ね 3 ヶ月以上やむを得ず研究活動を中断した者。

上記要件を満たしていれば、年齢・性別は問いません。

採用期間

[平成 18 年度採用分]

平成 19 年 1 月 1 日～20 年 12 月 31 日 (2 年間)

[平成 19 年度採用分]

申請者が以下のいずれかを選択することができます。

平成 19 年 4 月 1 日～21 年 3 月 31 日 (2 年間)

平成 19 年 7 月 1 日～21 年 6 月 30 日 (2 年間)

平成 19 年 10 月 1 日～21 年 9 月 30 日 (2 年間)

平成 20 年 1 月 1 日～21 年 12 月 31 日 (2 年間)

募集要項および申請書様式

本会のホームページよりダウンロードできません。(詳細は募集要項をご確認ください)

http://www.jsps.go.jp/j-pd/rpd_boshu_f.html

申請書提出方法

申請者は研究に従事する予定の機関を通じて本会へ提出して下さい。個人から本会への直接の申請は受け付けませんのでご注意ください。

連絡先

独立行政法人日本学術振興会 研究者養成課

平成 18・19 年度採用分

特別研究員 RPD 募集担当

〒102-8472 東京都千代田区一番町 8 番地

電話 (03) 3263-1736, 5070

独立行政法人 放射線医学総合研究所
分子イメージング研究センター研究員・業務
補助員・技術員(任期制)の公募について

この度当研究所において、下記のとおり募集することになりましたのでお知らせします。

研究員

1. 所属・職名
分子イメージング研究センター分子神経イ
メージング研究グループ脳病態研究チーム
研究員
若干名(年度契約の任期制職員で評価により
最長 2011 年 3 月まで更新可能)
2. 業務内容
PET を用いた精神神経疾患の神経伝達機能
に関する研究
3. 報酬
当研究所が独自に定める給与による。
4. 勤務態様
月曜日～金曜日(8 時 30 分～17 時 15 分)
5. 応募資格
(1) 医師免許を有すること
(2) 臨床研究の実績を有すること
6. 提出書類
(1) 履歴書 1 通
(2) 推薦書 1 通
(3) 業績リスト(原著, 総説, 学会発表別.
最新のものから順に記入) 1 通
(4) 主要業績概要(A4 版 2 千字以内) 1 通
(5) 今後の研究の抱負(A4 版 2 千字以内)
1 通
(6) 主要論文別刷 5 編以内(コピー可)
提出書類は返却致しません。
7. 応募締切:平成 18 年 3 月 15 日(水)
8. 採用予定日
平成 18 年 5 月 1 日以降のなるべく早い時期
9. 問い合わせ先
分子イメージング研究センター
分子神経イメージング研究グループ

須原 哲也

TEL: 043-206-3194, FAX: 043-253-0396

e-mail: suhara@nirs.go.jp

10. 書類提出先

〒263-8555 千葉市稲毛区穴川 4-9-1

独立行政法人 放射線医学総合研究所

分子イメージング研究センター

運営企画グループ

郡司(ぐんじ), 大河内(おおこうち)

TEL: 043-206-4706, FAX: 043-206-4079

e-mail: mic@nirs.go.jp

郵送は書留とし、封書に「分子イメージング研
究センター分子神経イメージング研究グループ
研究員応募書類在中」と朱書き願います。

研究員

1. 所属・職名
分子イメージング研究センター分子神経イ
メージング研究グループシステム分子研究
チーム 研究員
若干名(年度契約の任期制職員で評価により
最長 2011 年 3 月まで更新可能)
2. 業務内容
(1) 動物(霊長類, げっ歯類)を用いた PET
と侵襲的手法を組み合わせた多角的研究
(2) 生体スライスを用いた ex vivo 研究
(3) 動物(霊長類, げっ歯類)を用いた化学的
研究
(4) 上記研究を遂行するために必要な業務
3. 報酬
当研究所が独自に定める給与による。
4. 勤務態様
月曜日～金曜日(8 時 30 分～17 時 15 分)
5. 応募資格
(1) 博士の学位を有すること
(2) 神経生理的研究に精通していること
(3) 神経薬理的研究に精通していること

- (4) RI を利用した神経化学研究 (PET, オートラジオグラフィ等) の経験を有することが望ましい
(2)~(4) に関しては全てを満足する必要はない。
6. 提出書類
- | | |
|--|-----|
| (1) 履歴書 | 1 通 |
| (2) 推薦書 | 1 通 |
| (3) 業績リスト (原著, 総説, 学会発表別, 最新のものから順に記入) | 1 通 |
| (4) 主要業績概要 (A4 版 2 千字以内) | 1 通 |
| (5) 今後の研究の抱負 (A4 版 2 千字以内) | 1 通 |
| (6) 主要論文別刷 5 編以内 (コピー可) | |
- 提出書類は返却致しません。
7. 応募締切: 平成 18 年 4 月 30 日 (日)
8. 採用予定日
平成 18 年 6 月 1 日以降のなるべく早い時期
9. 問い合わせ先
分子イメージング研究センター
分子神経イメージング研究グループ
須原 哲也
TEL: 043-206-3194, FAX: 043-253-0396
e-mail: suhara@nirs.go.jp
10. 書類提出先
〒263-8555 千葉市稲毛区穴川 4-9-1
独立行政法人 放射線医学総合研究所
分子イメージング研究センター
運営企画グループ
郡司 (ぐんじ), 大河内 (おおこうち)
TEL: 043-206-4706, FAX: 043-206-4079
e-mail: mic@nirs.go.jp

郵送は書留とし, 封書に「分子イメージング研究センターイメージング分子神経イメージング研究グループ研究員応募書類在中」と朱書き願います。

技術員

1. 所属・職名
分子イメージング研究センター分子神経イメージング研究グループ分子生態研究チーム 技術員
若干名 (年度契約の任期制職員で評価により最長 2011 年 3 月まで更新可能)
2. 業務内容
- (1) 分子イメージング研究に用いる精神神経疾患モデル動物 (主にげっ歯類) 開発
 - (2) モデル動物を用いた生体イメージングおよびオートラジオグラフィ
 - (3) モデル動物の分子生物学的・生化学的・組織病理学的解析
3. 報酬
当研究所が独自に定める給与による。
4. 勤務態様
月曜日~金曜日 (8 時 30 分~17 時 15 分)
5. 応募資格
- (1) 修士号を取得しているか, 又は同程度の知識と経験を有すること
 - (2) げっ歯類の取り扱いに習熟していること
6. 提出書類
- | | |
|--|-----|
| (1) 履歴書 | 1 通 |
| (2) 業績リスト (原著, 総説, 学会発表別, 最新のものから順に記入) | 1 通 |
| (3) 今後の抱負 (A4 版 2 千字以内) | 1 通 |
- 提出書類は返却致しません。
7. 応募締切: 平成 18 年 4 月 30 日 (日)
8. 採用予定日
平成 18 年 6 月 1 日以降のなるべく早い時期
9. 問い合わせ先
分子イメージング研究センター
分子神経イメージング研究グループ
須原 哲也
TEL: 043-206-3194, FAX: 043-253-0396
e-mail: suhara@nirs.go.jp
10. 書類提出先
〒263-8555 千葉市稲毛区穴川 4-9-1

独立行政法人 放射線医学総合研究所
分子イメージング研究センター
運営企画グループ
郡司(ぐんじ), 大河内(おおこうち)
TEL: 043-206-4706, FAX: 043-206-4079
e-mail: mic@nirs.go.jp

郵送は書留とし, 封書に「分子イメージング研究センターイメージング分子神経イメージング研究グループ技術員応募書類在中」と朱書き願います。

業務補助員

1. 所属・職名
分子イメージング研究センター分子神経イメージング研究グループ分子生態研究チーム 業務補助員
若干名(年度契約の任期制職員で評価により最長 2011 年 3 月まで更新可能)
2. 業務内容
上記チームの動物の世話及び研究・実験の補助
3. 報酬
当研究所が独自に定める給与による。
4. 勤務様態
週 30 時間以内(月曜～金曜・勤務曜日・時間については要相談)

5. 応募資格
専門学校卒業以上
6. 提出書類
履歴書 1 通
提出書類は返却致しません。
7. 応募締切: 平成 18 年 3 月 31 日(金)
8. 採用予定日
平成 18 年 5 月 1 日以降のなるべく早い時期
9. 問い合わせ先
分子イメージング研究センター
分子神経イメージング研究グループ
分子生態研究チーム
樋口 真人
TEL: 043-206-4700, FAX: 043-253-0396
e-mail: mhiguchi@nirs.go.jp
10. 書類提出先
〒263-8555 千葉市稲毛区穴川 4-9-1
独立行政法人 放射線医学総合研究所
分子イメージング研究センター
分子神経イメージング研究グループ
仁礼(にれい)
TEL: 043-206-3251, FAX: 043-253-0396
e-mail: mic@nirs.go.jp

郵送は書留とし, 封書に「分子イメージング研究センター分子生態研究チーム業務補助員応募書類在中」と朱書き願います。

~~~~~  
§ 医薬品・医療機器等安全性情報

(厚生労働省医薬食品局)

平成 18 年 1 月 No. 221  
~~~~~

医薬品・医療機器等安全性情報No.221が発行されました。その概要は以下のとおりです。詳細は次の雑誌に掲載されますので、関連症例等についてはこれらをご参照下さい。

日本医師会雑誌（3月号）（1，2のみ）

クリニカル プラクティス（3月号）

日本薬剤師会雑誌（3月号）（1，2，4のみ）

月刊薬事（3月号）

日本病院薬剤師会雑誌（3月号）

診療と新薬（2月号）

NTTのファクシミリ通信網サービス「Fネット」を通じ、最近1年間の「医薬品・医療機器等安全性情報」がお手元のファクシミリから随時入手できます（利用者負担）。既に、Fネットに加入されている方は、次の操作番号で目次を引き出して下さい。162# 284 03 3508 4364 01#（Fネットへの加入等についての問い合わせ先は☎0120-161-011）

なお、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）からも入手可能です。

1. 小児気管支喘息におけるテオフィリン等の適正使用について

テオフィリン徐放性経口剤の適正使用については、添付文書の「用法・用量に関連する使用上の注意」に日本小児アレルギー学会の「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン」を引用し投与量の目安を示した上、「慎重投与」の小児の項に、血中濃度のモニタリングを行うなど慎重に投与する旨を記載するとともに、てんかん及びけいれんの既往歴のある小児、発熱している小児、6ヵ月未満の乳児には特に慎重に投与する旨を記載し、注意喚起を図ってきたところである。

今般、日本小児アレルギー学会が作成している「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン」が改訂されたことから、テオフィリン等の使用上の注意を改訂したので、当該ガイドライン及

び改訂の概要について紹介する。

2. X線CT装置等が植込み型心臓ペースメーカー等へ及ぼす影響について

X線CT装置等によるX線の照射中にオーバーセンシングを引き起こすことについて、添付文書の「使用上の注意」の改訂等を指導したのでお知らせする。

また、セラDR-1等（日本メドトロニック社製）について、X線を照射することによりリセットを引き起こすことについて、注意喚起等するよう指導したのでお知らせする。

3. 使用上の注意の改訂について（その172）

次の医薬品等について「使用上の注意」の改訂内容等を記載している。

イブプロフェン，ザルトプロフェン，塩酸クロルプロマジン，塩酸クロルプロマジン・塩酸プロメタジン・フェノバルビタール，ヒベンズ酸クロルプロマジン，フェノールフタリン酸クロルプロマジン，塩酸レボメプロマジン，マレイン酸レボメプロマジン，アミノフィリン（経口剤），コリンテオフィリン，アミノフィリン（注射剤），（気管支喘息の効能を有する製剤），アミノフィリン（坐剤），テオフィリン（徐放性経口剤），（小児の用法・用量を有する製剤），テオフィリン（徐放性経口剤），（小児の用法・用量を有しない製剤），テオフィリン（注射剤），グリメピリド，三酸化ヒ素，塩酸セフカペンピボキシル（小児用細粒剤），セフジトレンピボキシル（小児用細粒剤），セフテラムピボキシル（小児用細粒剤），生きたカルメット・ゲラン菌（BCG）・コンノート株

次の医療機器について「使用上の注意」の改訂内容等を記載している。

ラジオ波焼灼法に際して使用する電気手術器

4. 市販直後調査の対象品目一覧

平成18年1月1日現在，市販直後調査の対象品目一覧を紹介する。

（No. 222 はダイジェスト版なしのため，掲載しません）